

都立西高創立 80 周年記念行事の講演会・懇親会

<参加者プロフィール等 敬称略>

講演会講演者 西垣 通 紹介

講演タイトル：21世紀に吹く風をよむ

講演概要：敗戦から70年あまり、再び各国でナショナリズムがうごめき出している。問題は、情報技術の進展とともに社会がメガマシ化し、人間が柔軟な思考の自由を失いつつあることだ。今、AI（人工知能）がブームとなっているが、思考を機械的操作にゆだねてよいのだろうか。戦後の復興を担った西高卒業生たちと一緒に考えてみたい。

略歴：1948年東京生まれ。西高第19期。東京大学工学部計数工学科卒業。工学博士。日立製作所、米国スタンフォード大学にてコンピュータ・ソフトウェアの研究に従事した後、明治大学教授、東京大学大学院情報学環教授を経て現在、東京経済大学コミュニケーション学部教授、東京大学名誉教授。著書に、『ビッグデータと人工知能』、『ネット社会の「正義」とは何か』、『集合知とは何か』など多数。

懇親会司会者 中田有紀 紹介

西高44期卒で、在学中は3年間、剣道部に所属。記念祭実行委員会など校内行事にも積極的に参加した。日本大学芸術学部放送学科卒業後、青森放送にアナウンサーとして入社。4年半ほど勤めた後、フリーに転身し、フリーアナウンサー事務所「セント・フォース」に所属。『OHA!4 NEWS LIVE』、『サラリーマン NEO』、『JAM THE WORLD』など、テレビやラジオで活動。昨年、女兒を出産し、約一年間の産休を経て、今年から本格的に仕事復帰。現在担当番組『ゴゴスマ ～GOGO! SMILE!～』など。4月末から毎週土曜日の『水前寺清子情報館』([HTTP://WWW.BSFUJI.TV/JOHOKAN/PUB/001.HTML](http://www.bsfuji.tv/johokan/pub/001.html)) (13:00～14:55) に進行役として出演中。

懇親会出演者等紹介

懇親会冒頭の Brindisi（乾杯）の選曲理由(黒田氏)

80周年に相応しいように、選曲致しました。この曲は歌劇「椿姫」の乾杯の歌とは異なります。本来は独唱曲ですが今回は祝意を込め「酒を注いでくれ。盃よ。お前だけが嘘をつかない」と田辺いづみさんと二人で、演奏致します。

●黒田 彰（バリトン）（27期）

中央大学法学部、武蔵野音楽大学、同大学院修了後、「誰でも良い声になれる」をモットーに、リサイタル、新国立劇場、東京二期会等のオペラに出演。阪神淡路、東日本、熊本大分に心を寄せて独唱・合唱指揮を続けている。近年同窓故喜早哲氏監修のCD「新抒情歌選集美しき歌こころの歌」にアンサンブル指揮曲及び指導曲が収録され、ユーキャンよりリリースされた。米国ハーバード大学客員准研究員を経て、現在、武蔵野音楽大学声楽科准教授、アメリカ合衆国声楽教育者協会正会員。東京二期会会員・代議員、西高混声合唱団指揮者

●田辺いづみ（メソソプラノ）（29期）

国際基督教大学及び国立音楽大学卒業、国立音大大学院修了。マリポール国立歌劇場及び埼玉オペラ協会公演「カルメン」にカルメン役で出演。「アイーダ」「ワルキューレ」「神々の黄昏」「ジャンニ・スキッキ」等に出演の他、リゲティ「ル・グラン・マカーブル」、プロコフィエフ「修道院での結婚」等の日本初演に主要キャストとして出演。ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」等のアルトソロを務める。丸の内合唱団他ヴォイストレーナー。二期会会員。
☆新橋にあるミュージックレストラン“アルテリーベ”に定期的に出演しております。是非一度ご来店ください！

●竹山千尋（ピアニスト）（50期）

東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、同大学院ピアノ専攻修了、国際音楽コンクール（イタリア）優秀音楽家賞受賞、毎年チャリティーコンサートを開催している。

●井上昭史（20期）

在校時は、水泳部とブラスバンド部に所属。慶応義塾大学文学部 & (?) ヲグネル・ソサイエティー・オーケストラを卒業後、スイスのヴァンタートゥアー音楽院にて学び、1982年夏イタリア、アッシジでの音楽祭に室内オーケストラのメンバーとして参加。1984年帰国後『トレバー・ワイ フルート教本』を順次邦訳。1992年より井上真美とのデュオを開始。1998年には、NHK「街道をゆく」の音楽を担当、2003年には、NHK大阪の「金曜コンサート」に出演した。著書として『フルートの正しい指使い』（2013年刊）、『フルートとピアノで奏でる珠玉の名曲17選』（2014年刊）、共訳書として『フルートの巨匠マルセル・モイーズ』（1995年刊）がある。

なお、井上 真美さんは奥様。